

③登別市への移住・定住の促進

- ▶平成27年度事業費 406万3,000円
- ▶問い合わせ 企画調整グループ (☎01122)

人口減少社会に対応し、登別市に多くの方が移住や二地域居住などをしていただくため、生活に必要な家具や家電を備え付けた住宅などを用意し、登別市の生活を体験していただく『ちょっと暮らし』を行っています。

また、道外で毎年開催される『北海道暮らしフェア』に出展して登別市のPRを行ったほか、平成27年には市独自の移住情報パンフレットを一部改訂し発行しました。これらの取り組みが実を結び、登別市は、平成27年度上半期の『ちょっと暮らし』の利用者数が道内2位となりました。

市への移住・定住をさらに促進するため、まちのPR動画や全国情報誌に掲載するPR記事の作成などを進めています。



▲平成27年に改訂・発行した市のパンフレット

②神奈川県海老名市との姉妹都市提携

- ▶平成27年度事業費 280万円
- ▶問い合わせ 総務グループ (☎01130)

平成23年4月の『トライアングル交流宣言』以降、登別市と海老名市は、両市の姉妹都市である宮城県白石市を含めて、産業経済や教育、文化、福祉などのさまざまな分野で交流を続けています。

交流をより深める目的で、平成27年5月18日に、両市の未来ある子どもたちの前で、姉妹都市提携の盟約を締結したほか、『姉妹都市提携記念植樹』を行い、今後の友好関係の維持発展を誓い合いました。



④国際理解講座の開催

- ▶問い合わせ 企画調整グループ (☎01122)

国際理解講座は、市民の皆さんに諸外国の生活や文化などへの理解を深めてもらうため、平成11年度から毎年度実施しています。

平成27年度は、これまで4回開催し、メキシコの魅力、実践的な英会話の練習方法、アメリカの学校の仕組み、中国・内モンゴル自治区出身者によるふるさとの暮らしなどを紹介しました。

2月25日には、第5回国際理解講座を開催します。詳しくは『くらしのガイド』（17ページ）をご覧ください。



▲多種多様な内容の講座を開催している

⑤商店街活性化事業

- ▶平成27年度事業費 800万円
- ▶問い合わせ 商工労政グループ (☎01171)

市内の空き店舗を利用して新たに事業を行う方へ補助する『空き店舗活用事業』、商店会などを対象に商店街のにぎわい創出に向けた事業経費の一部を補助する『商店街活性化支援事業』を実施するとともに、既存店舗が行う店舗の改修を支援する『店舗リフォーム補助金』を交付しました。

▶平成27年度実績 (平成27年12月末現在)

- ・空き店舗活用事業…7件
- ・商店街活性化支援事業…2件
- ・店舗リフォーム補助金…3件

▶空き店舗活用事業補助金を利用して開業した店舗(一部)

